第 2013-18 号

恵みと真理のニュース

2013 年 6 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 子供を治してくださり苦難が祝福になるように導いてくださった神様の恵みに感謝ささげます。

私の実家は篤実な神様を信じる家庭で子供のときから神様を信じながら育ちました。1986年水源に引越ししてから恵みと真理の教会に通いながら以前よりもっと頑張って信仰生活をしました。
大人になって教会学校の教師として奉仕をはじめ、結婚する時期になって配偶者のため祈りました。そのうちに 2004 年まじめな人に出会いましたが彼の家族はみなイエス様を信じませんでした。それで結婚に対する確信を得なくつつけて悩んでいるとき彼は積極的に求愛し結婚をするなら私をついて教会に行くとイエス様を信じると約束をしました。しかし、信仰がないのが心配で続けて祈りをすると　“神が 御子を世に 遣わされたのは， 世を 裁くためではなく， 御子によって 世が 救われるためである。”ヨハネの福音書 3 書 17 節　“同時にわたしたちのためにも 祈ってください． 神が御言葉のために 門を 開いてくださり， わたしたちが キリスト の 秘められた 計畫を 語ることができるように． このために， わたしは 牢につながれています．（コロサイの信徒への手紙　4：3）御言葉が思い出して、私がこの人を主の前に導いて救いを得るようにという神様の御心だと思い決断して結婚しました。
約束の通り旦那は私が職場生活も続けてやって教会も頑張って奉仕するように配慮してくれました。また、旦那もすぐイエス様を救い主で受け入れました。私の夫婦に対する神様の恵みと愛を感じながらこのすべてが感謝でした。
一番の子供を産みましたが当時会社をやめるのができなくて私の代わりにお姉さんが子供を育てました。　続いて年々生で二番目の子供を産みました。結局、子供の養育のため主のことに忠実にやることが神様の御心だと思って会社をやめて育児と家事に専念しました。二人の子供を育てるのは大変でした。その間、姉から育てられた上の子は環境の変化にストレスを受けるみたいで　さらに二番目の子も 100 日になる前毛細気管支炎の病気になって治療を受けました。よく、呼吸混乱の症状が出て治療を受けても症状はもっと悪化して行きました。病院では確実な発病の理由と治療の方法も知らないと言いました。

次号に続く

［信仰コラム］　神々(こうごう)しくて美(うつく)しい願(ねが)い

あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。フィリピの信徒への手紙 2:13

人(ひと)がどんな仕事(しごと)を行(おこな)うには、いくつかの同期(どうき)があります。思(おも)わず行(おこな)う場合(ばあい)があります。自分(じぶん)は望(のぞ)んでいないが、ほかの人(ひと)の強要(きょうよう)や要求(ようきゅう)により行(おこな)う場合(ばあい)があります.自意の半(はん)他意の半分(はんぶん)に行(おこな)う場合(ばあい)があります。自分(じぶん)の心(こころ)の中(なか)に、願(ねが)いが起(お)きて行(おこな)う場合(ばあい)があります。自分(じぶん)の心(こころ)に願(ねが)いが起(お)きて仕事(しごと)をするときは積極(せっきょく)性(せい)を帯(お)びて能動(のうどう)的(てき)に、そして楽(たの)しく行(おこな)うこととなります。その願(ねが)いの出所(しゅっしょ)が自分(じぶん)の場合(ばあい)があり神(かみ)様(さま)の場合(ばあい)があります。自(みずか)ら持つ願(ねが)いだが神(かみ)様(さま)の言葉(ことば)により刺激(しげき)された願(ねが)いは神(かみ)様(さま)からもらったねがいです。神(かみ)様(さま)からもらった願(ねが)いは神(かみ)様(さま)のうれしそうな意味(いみ)のためのものです。こんな願(ねが)いを持(も)って行(おこな)うことよりもっと充実(じゅうじつ)して意味(いみ)ある事(こと)はありません。ですので、私(わたし)たちは神(かみ)様(さま)がくれる願(ねが)いを持(も)つように祈祷(きとう)する必要(ひつよう)があります。福音(ふくいん)電波(でんぱ)と注意(ちゅうい)仕事(しごと)のための献身(けんしん)奉仕(ほうし)は神(かみ)様(さま)がくれるお願(ねが)いで基(もと)づくものです。神(かみ)様(さま)は自分(じぶん)のうれしそうな意味(いみ)をために彼(かれ)の労働(ろうどう)者(しゃ)を選(えら)んだ、彼(かれ)らの心(こころ)の中(なか)に願(ねが)いの炎(ほのお)を点火(てんか)させます。福音(ふくいん)を伝(つた)える人々(ひとびと)の心(こころ)にあるその願(ねが)いはすべて神(かみ)様(さま)からもらったものです。神(かみ)様(さま)が私(わたし)たちに一千(いっせん)教会(きょうかい)設立(せつりつ)と百(ひゃく)万(まん)生徒も復興(ふっこう)の願(ねが)いをくださいました。国内(こくない)だけでなく、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、ペルー、ウガンダなどにもずっと教会(きょうかい)と神学校(しんがくこう)が建(た)てられているのは生徒(せいと)皆(みんな)さんが神(かみ)様(さま)からもらった訴願(そがん)の炎(ほのお)を消(け)したらず、ずっと火(ひ)が付(つ)いてその願(ねが)いを追(お)って献身(けんしん)するためです。韓国(かんこく)教会(きょうかい)がずっと復興(ふっこう)され、新(あたら)しい信者(しんじゃ)たちが増(ふ)えることは区域(くいき)長(ちょう)をはじめ、生徒も皆(みんな)さんが神(かみ)様(さま)からもらった魂(たましい)の救(すく)いの願(ねが)いの炎(ほのお)を消(け)したらず、ずっと火(ひ)が付(つ)いてその願(ねが)いを追(お)って行(おこな)うからです。教会(きょうかい)の各(かく)機関(きかん)部署(ぶしょ)で奉仕(ほうし)する方(かた)たちもその心(こころ)の中(なか)に神(かみ)様(さま)がくれた願(ねが)いがついて時間(じかん)と才能(さいのう)と身(み)と財物(ざいぶつ)をして奉仕(ほうし)しています。これらの願(ねが)いたちは神(かみ)様(さま)のうれしそうな意味(いみ)のための神々(こうごう)しくて美(うつく)しい私(わたし)の願(ねが)いです。
神(かみ)様(さま)からもらった願(ねが)いを受(う)けた人(ひと)はまるで砂漠(さばく)で望遠(ぼうえん)鏡(きょう)を持(も)って遠(とお)くオアシスがいるのを見(み)た人(ひと)のようで期待(きたい)心(こころ)と喜(よろこ)びを持(も)って安(やす)らかな心(こころ)で辛抱(しんぼう)して進(すす)めることができます。伝道(でんどう)と注意(ちゅうい)仕事(しごと)のための献身(けんしん)奉仕(ほうし)に対(たい)する願(ねが)いは神(かみ)様(さま)のうれしそうな意味(いみ)に相当(そうとう)した願(ねが)いだと誰(だれ)にでも確実(かくじつ)に言(い)えます。ほかも皆(みんな)さんは多様(たよう)な願(ねが)いを持(も)つようにしてください。神(かみ)主権(しゅけん)的(てき)にお願(ねが)いがあり、みなさん自身(じしん)が希望(きぼう)して持つ願(ねが)いもあります。ただその願(ねが)いが神(かみ)様(さま)のうれしそうな意味(いみ)にふさわしいかを注意(ちゅうい)しなければなりません。その分別(ぶんべつ)は神(かみ)様(さま)の言葉(ことば)にしなければなりません。
神(かみ)様(さま)のうれしそうな意味(いみ)に相当(そうとう)した望(のぞ)みを持(も)って行(おこな)う人(ひと)はその願(ねが)いが成就(じょうじゅ)した時(とき)、自分(じぶん)の自慢(じまん)に陶酔(とうすい)したり、驕慢(きょうまん)に行(おこな)いません.
ただ神(かみ)様(さま)に感謝(かんしゃ)と栄光(えいこう)を回(まわ)します。神(かみ)様(さま) のうれしそうな意味(いみ)に相当(そうとう)した望(のぞ)みを持(も)って行(おこ)なうとたとえ試練(しれん)と苦難(くなん)があるとしてもそのすべてが合力(ごうりき)して線(せん)を成(な)すことになるはずでありすべて神(かみ)様(さま)がくれる称賛(しょうさん)と上級(じょうきゅう)と栄光(えいこう)になることです。
神(かみ)様(さま)のうれしそうな意味(いみ)に相当(そうとう)した望(のぞ)みを持(も)って行(おこな)う人(ひと)は無理(むり)して早急(さっきゅう)に行動(こうどう)する理由(りゆう)がありません。
神(かみ)様(さま)が神(かみ)様(さま)の時(とき)と方法(ほうほう)通(どお)りに成すために皆(みんな)さんが持(も)った訴願(そがん)の結果(けっか)を予見(よけん)して余裕(よゆう)のある心(こころ)で最善(さいぜん)を尽(つ)くして誠実(せいじつ)に行(い)ってください。
神(かみ)様(さま)のうれしそうな意味(いみ)のための神々(こうごう)しくて美(うつく)しい願(ねが)いを持(も)って見(み)られずに生(い)きて生涯(しょうがい)を終(お)える人(にん)はかわいそうな人(ひと)です。皆(みんな)さんは、神(かみ)様(さま)の口(くち)約束(やくそく)に基(もと)づく神々(こうごう)しくて美(うつく)しい願(ねが)いを持(も)って行(おこな)い神(かみ)様(さま)の助(たす)けることを着(き)て所願(しょがん)成就(じょうじゅ)を生(い)きていくことを祈(いの)ります。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

身分の変化

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

パウロ使徒がエルサレムを訪問して聖殿に入ったが彼を見知ったアジアから来たユダヤ人たちがありました. 彼らはパウロがアジアで福音伝えることを妨げた者等でした. たぶん エペソから来たユダヤ人であるようです. 彼らはエペソでパウロを害しようと思っている途中で未収に至った経験がありました. 彼らが群れを衝動してパウロを縛り上げて叫んだら幾多の人々が寄り集まってパウロを聖殿の外にひいて出て殺そうと思いました. 全エルサレムがやかましくなってローマ軍隊の千卒長が急に軍人たちと百卒長たちを従えて駆け付けて騒擾を押えてアントニア要塞に押送しました.
そして千卒長は部下たちにパウロを營門の中に連れて行ってむち打ちながら訊問しなさいと言い付けました. あの時パウロが自分がローマ市民権があることを言うと彼を訊問しようとしていた人々が彼から直ちに退いて千卒長は彼がローマ人という事実が分かって, 彼が結縛された事のため恐ろしがりました. ローマ時代にローマ市民になるみちが三種類ありました. ローマ市民権者の子に生まれた場合とお金をくれて市民権を取得した場合そしてローマのためにおおい貢献した対価に得るようになる場合です. 人がどんな身分や資格を持つようになる事は何種類の場合があります. 自分がどんな仕事をすることで得るようになる場合があります. 生まれによって得るようになる場合があります. そして他人が対価を支払うことで得るようになる場合です. 人が一生で必ず経験しなければならない変化があります. その変化と言うのは身分上の変化です. 社会的な身分変化ではないです. 存在の本質に起きる変化です. 魂に起きる変化です. 義人になって, 聖徒になって, 神様の子になって, 天国市民になる身分の変化です.

第一、このような身分の変化がどのようにすれば起きるようになるかをよく見ます.

義人, 聖徒, 神様の子, 天国市民という身分はローマ市民権のようにお金をあげて買うことができるのではないです. いくら世界的な金持ちと言っても買うことができないです. もしこのような身分をお金払って買おうと思えば恥ずにあうようになるでしょう. このような身分はどんな功労でも獲得することができないです. たとえ基督教会のために多くの功労を立てると言っても得ることができないです. どんな親から生まれると言っても義人, 聖徒, 神様の子, 天国市民という身分を持って生まれる事は決してないです. 可能な道はただ 一つだけです. その道を明らかにするように現わした聖書句節があります. コリントの２で 5章 17節です. “ですから だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。” しました.
“新しい被造物”と言いながら “見よう新しいものになった” しました. これは前にはなかった全然新しい身分を持った者になったという意味です. “誰でも”という言葉は老若男女と貧富貴賤と人種の差別がないというのです. 条件がただ一つです. “イエスキリスト中にあれば”と言いました. これはキリストとの神秘的な連合が成り立った状態を言います. どのようにすればキリストと神秘的連合が成り立つことができますか? キリストイエス様を自分の救世主に信じて迎接しなければなりません. イエス様は童貞女の身で聖霊にみごもって世の中へいらっしゃった神様であるキリストです. 罪人たちの罪を親しく担当して代わりに十字架にくぎつけられてあがないの死を死にました. 葬られてから三日ぶりに復活したし天にのぼって神様の右の佐にいらっしゃいます. 将来に再臨なさって最後の審判を主観なさるでしょう. このようなイエスキリストを信じる者は誰でも新しい被造物になって新しい身分を持つようになります. 義人になって, 聖徒になって, 神様の子になって, 天国市民になります.

第二、イエスキリストの中にあって得るようになった新しい身分にかなうことに関してよく見ます.

イエスキリストの中にあって新しい被造物になって新しい身分を持った人々はその身分に適う暮そうと力をつくさなければなりません. 新しい身分を得るためではないです. 新しい身分を得たのでその身分に適う処身しなければなりません.キリスト中にある人は義人という身分を得るようになりました. だから義人らしく処身しなければなりません. 罪人が義人になるためにできる仕事は何もないです. 全的に神様がなさった仕事を信仰で受け入れるしかないです. 神様がなさった仕事と言うのはイエス様を送って代贖の働きを遂行するようになさったのです. ローマ書で 3章 24節に “彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。”言いました. 私たちの持った義は私たちの行為で得たのではないです. 全面的にイエスキリスト中でくださる恵みで贈り物です. ガラテヤ人への手紙2章 16節に “人の義とされるのは律法の行いによるのではなく、ただキリスト・イエスを信じる信仰によることを認めて、わたしたちもキリスト・イエスを信じたのである。それは、律法の行いによるのではなく、キリストを信じる信仰によって義とされるためである。なぜなら、律法の行いによっては、だれひとり義とされることがないからである。”言いました. 神様が授けた義は法廷の判決と同じです. ローマ書3章 26節に “それは、今の時に、神の義を示すためであった。こうして、神みずからが義となり、さらに、イエスを信じる者を義とされるのである。” 言いました. “イエスキリスト信じる者は義のある.” という判決を後先にするとか無效化させる者はどこにもないです. ローマ書8章 33節と 34節に “だれが、神の選ばれた者たちを訴えるのか。神は彼らを義とされるのである。だれが、わたしたちを罪に定めるのか。キリスト・イエスは、死んで、否、よみがえって、神の右に座し、また、わたしたちのためにとりなして下さるのである。” 言いました. だからこの驚くべきな神様の愛と恵みを厚く感謝して讃尿しながら生きて行くのが義人らしく処身するのです.キリスト中にいる人は聖徒という身分を得るようになりました. だから聖徒らしく処身しなければなりません. 聖書で聖徒と言うのは“神様によって区別されてまた神様のために区別された者”を意味します. 聖徒という身分は神様の愛と呼ぶことを着て得るようになるのです. ローマ書12章 2節に “あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。” しました. 聖徒は永生を持った者として世の中の風潮に同化されることができないです. 神様のみ旨を分別してそのみ旨のどおり暮すのを力をつくすのが聖徒らしく処身するのです. 礼拝と神様に差し上げることを楽しがって, 教会奉仕と福音伝道に力をつくすのが聖徒らしく処身するのです. コリントの２で 5章 9節には ″そういうわけだから、肉体を宿としているにしても、それから離れているにしても、ただ主に喜ばれる者となるのが、心からの願いである。″しました. 神様から誉められて, 神様を嬉しくしようとする目標を持ってすべての事を行うのが聖徒らしく処身するのです.イエスキリストの中にいる人は神様の子という身分を得るようになりました. だから神様の子らしく処身しなければなりません. 悪魔の子になった私たちを神様の子になるようにしようと父の神様がどんな愛を施したのかを考えて見てください. 神様がイエス様をこの世に行かせて私たち罪を代わりに担当して十字架に釘つけられて死なれるようにしました. エペソで 3章 18節と 19節に “すべての聖徒と共に、その広さ、長さ、高さ、深さを理解することができ また人知をはるかに越えたキリストの愛を知って、神に満ちているもののすべてをもって、あなたがたが満たされるように、と祈る。” しました. その愛の深みは海より深くて, その愛の高さは空より高いです. ヨハネ１書 3章 2節には “愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。そのまことの御姿を見るからである。” しました. 将来に神様が再臨なさればイエスキリストの栄える姿のように神様の子になった我の身が変わるようになるでしょう. だから皆さんは神様の子という身分にふさわしく処身しなければなりません. どんな場合でもすごい自負心を持って堂堂と行うのが神様の子らしく処身するのです.キリストの中にいる人は天国市民という身分を得るようになりました. だから天国市民らしく処身しなければなりません. 世の中で先進国, 強大国, 一等国家の市民だと言っても天国市民に比べればしがないです. ピリピ人への手紙 3章 20節に“しかし、わたしたちの国籍は天にある。そこから、救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。 ”しました. 私たちの故郷は天国です. 世の中で旅人と行人で住んでいます. だから世の中で熱心に住みながらも世の中に心を奪われないで天国を慕いながら生きて行くのが天国市民らしく行動するのです.
聖徒の皆さんはイエスキリストの中でおびただしくて驚くべきな身分の変化を受けた人々です. 義人です. 聖徒です. 神様の子です. 天国市民です. 皆さんの身分が意味することを深く悟って分かってその身分にかなうように処身しながら生きて行くようにお願いします.